

竹 中 大 工 道 具 館 NEWS

未 来 へ つ な ぐ 、 匠 の 技 と 心

Takenaka Carpentry Tools Museum News Letter

Vol. 26

2012 | Winter - Spring



企画展「葺く 一草と木でつくる屋根」東京会場イベント「茅を葺いてみよう」（2011年9月10日開催）

撮影／光齋昇馬

CONTENTS

REPORT 園城寺で檜皮葺きの現場見学会を開催
法隆寺でイベント「古代建築の謎を探る」を開催

NEWS ビデオ「大工さんってスゴイ！」を製作
ビデオライブラリーに6作品を追加
研究紀要第23号のご案内
ホームページを更新しました

SEMINAR 「技と心セミナー」のご案内

自然と人、人と人が共に生きる

企画展「葺く 一草と木でつくる屋根」は8月の東京展を皮切りに11月末の神戸展終了まで3ヶ月間で延べ5400人を超える方々にご来館いただきました。記念講演会、檜皮・茅葺き体験教室や見学会には全国からご参加いただき、多様な視点で日本の伝統的な屋根を紹介することができました。

木や草の自然素材は二酸化炭素を吸着し、建物としての使命を果たした後でも土に還り豊かな土壌を形成する循環型資源です。人々が協力し合って山や草原を維持するということを再認識する機会となりました。職人さん達の老齢化によって技術の継承が危ぶまれる中、比較的若い世代の台頭が将来への希望につながりました。また3月に発生した東日本大震災、大津波、放射能汚染により被災された方々への仮設住宅に、断熱材としての茅を設置する安藤邦廣先生達の活動紹介など、次の時代を見据えた活動に期待を持ちつつ企画展の幕を閉じることができました。

REPORT

Ⅰ 園城寺で檜皮葺きの現場見学会を開催

企画展「葺くー草と木でつくる屋根ー」の記念イベント「^{ひわだ}檜皮葺きの現場見学」を2011年10月22日（土）滋賀県園城寺（三井寺）で開催しました。

会場は修理工事中の大門（重文、1452年）と新羅善神堂（国宝、1347年）です。参加者の皆さんは仮設足場に昇り、檜皮葺き特有の美しい屋根を間近で見ることができました。また修理技術者から葺き材の種類や、重ね間隔、竹釘について詳しく解説していただいたほか、職人さんに実演していただき、口から一本一本竹釘を出して檜皮を留める様子も見学できました。修理工事現場ならではの特別な体験で、伝統の檜皮葺きの良さを肌で感じる事ができたと好評でした。



職人が竹釘で檜皮を一枚ずつ留めていく様子を見学（園城寺大門）

Ⅰ 法隆寺でイベント「古代建築の謎を探る」を開催

2011年8月21日、法隆寺iセンターで夏休み特別企画「古代建築の謎をさぐる 一法隆寺にみる堂宮大工の技と心ー」（共催：奈良県斑鳩町、歴史街道推進協議会、竹中工務店）を開催し、88名の方々にご参加いただきました。

当日は、まず当館の北村智則技能員が「最後の宮大工」と評された西岡常一棟梁、師匠である小川三夫棟梁から学んだものづくりの心構えや思いを語り、古代の大工道具の紹介と実演を行いました。続いて参加者は法隆寺を見学し、実際に古代の匠の技と心を体感しました。

最後に小・中学生を対象とした木工体験教室を行い、子どもたちが折りたたみイスの工作に挑戦しました。

参加者からは「木工体験はむずかしくて、お父さんお母さんにも手伝ってもらったけど、イスがきれいにできてすごうれしかった」「昔ながらの大工道具を使った社寺建築に興味があった」などの声が寄せられました。



Ⅰ 和釘についての出張授業を行いました

神戸市内の公立小学校に通う5年生は、国語の時間に愛媛の鍛冶・白鷹幸伯氏について書かれた「千年の釘にいどむ」を学習します。白鷹氏と縁のある当館では、理解を深めてもらうため、昨年末、兵庫大開小学校で出張授業を行いました。授業では、白鷹氏が鍛えた和釘と洋釘を実際に手に取りながら、和釘の特徴やつくり方、ヒノキとの相性などについてお話をしました。児童からは「和釘はすごく重かったし、大きかったので、持った時にすごくびっくりしました」「雨が降ったりしたら千年の釘もさびるから、修理をして大事にするというメッセージが印象に残りました」「釘を薬師寺の塔に使うには、釘をつくる人、釘を打ち込む人、その釘を守っていく人とか、たくさんの人の力があるんだなぁと思いました。」といった感想が寄せられました。

当館では和釘に関する出張授業や和釘の貸出を行っております。ご希望の方は2ヶ月前までに下記までお問い合わせください。

<問い合わせ先> 電話 078-242-0216 竹中工務店 教育普及担当



Ⅰ ビデオ「大工さんってスゴイ！」を製作

近年、工事現場が閉鎖的になったこともあり、大工さんがどのような仕事をしているのか、あるいは大工道具がどのようなものか子ども達にイメージが沸かなくなってきているようです。そこで小学生向けに大工仕事や道具をドラマ仕立てでわかりやすく紹介するビデオ（15分）を製作いたしました。ビデオは当館ライブラリー（団体はホール）でご覧になれるほか、教育機関向けにDVDの貸出も行います。

【ビデオのあらすじ】

仲良し小学生3人組の1人が犬を飼うことになりました。しかし、肝心の犬小屋を作ろうにも道具の使い方も分かりません。そんな時、偶然出会った大工さんから木組みや道具の使い方を教わることで、ものづくりの魅力に引き込まれていきます。はたして犬小屋は完成できたのでしょうか？



《教育機関向け貸出方法》

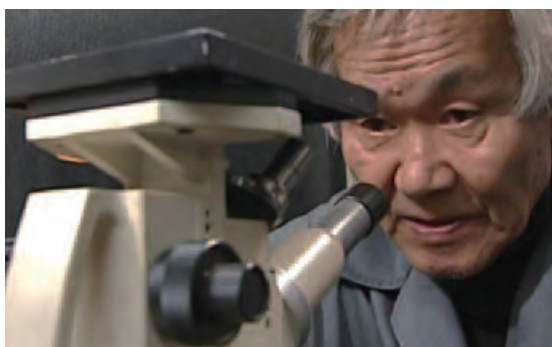
「大工さんってスゴイ！」のDVDを全国の学校や社会教育施設などに貸出いたします（利用料無料・貸出返却時の送料はご負担ください）。貸出をご希望の方は希望日の2か月前までに下記までお問い合わせください。

《問い合わせ先》 電話：078-242-0216 竹中大工道具館 教育普及担当

Ⅰ ビデオライブラリーに6作品を追加

好評の当館ビデオライブラリーに近年製作した6作品を追加しました。なかでも②の岩崎重義氏の仕事を記録した映像は今回初めてご紹介する作品です。

- ①「大工さんってスゴイ！」（15分、2011年製作）
- ②「科学する越後鍛冶 一岩崎重義 切出し小刀をつくる」（19分、2010年製作）
- ③「屋根を葺く 檜皮」（24分・2011年製作）
- ④「屋根を葺く 柿」（19分・2011年製作）
- ⑤「Master Carpenter: The World of Temple and Shrine Carpenters」（18分・2011年製作 ※「棟梁」の英語吹き替え版）
- ⑥「棟梁 一堂宮大工の世界」（23分／短縮版17分・2010年製作）



②「科学する越後鍛冶」のあらすじ：東京大学で冶金学を修め、その蓄積をもとに、故郷である越後の地で砂鉄からつくった和鋼（玉鋼）の特性を生かして刃物製作に尽力した岩崎航氏。その父の偉業を継承しながら科学的なものづくりを追求する岩崎重義氏の小刀製作のプロセスを記録しました。

Ⅰ 研究紀要第23号のご案内

当館スタッフならびに館外の研究者による大工道具・建築技術に関する論文集です。

今回は下記の2編を掲載します（3月23日発行予定）。

『竹中大工道具館研究紀要第23号』
（A4版・500円）



- ① 船曳悦子「近現代における鉋の変遷について 一 二枚鉋の裏金を中心に」
- ② 坂本忠規「三条の墨壺 一 製作技法と生産史に関する調査報告 一（仮）」

Ⅰ ホームページを更新しました

- ・ シンボルマークの変更に伴い、デザインを一新しました（日本語版4月、英語版12月）。
- ・ SNS対応としてfacebook、twitterのリンクボタンをトップページに掲載。facebookは専用ページも開設しました（<http://www.facebook.com/dougukan>）。
- ・ 展示の紹介ページに展示室を360°ぐるっと見渡せるVR映像を追加しました。

《メールマガジンのご案内》

展覧会やイベントなどの情報をタイムリーにお知らせするメールマガジンを発行しています。申し込みはメールアドレスを入力するだけ（トップページの下部に申し込みページへのリンクがあります）。ぜひご利用下さい。

SEMINAR

「技と心セミナー」のご案内

大工道具と建築技術の専門家ならびに当館スタッフが最新の研究成果や知見をご紹介しますセミナーのご案内です。

参加費 無料（入館料は別途必要）
開催時間 13:30～15:00（13:00開場）
会場 竹中大工道具館

セミナー参加申込み方法

ホームページから申込み

当館HP (<http://dougukan.jp>) セミナーページの申込みフォームをご利用下さい。

- ▶ホームページからはご本人様ならびに同伴者1名に限らせていただきます。
- ▶携帯メールアドレスはご使用になれません。

往復ハガキで申込み

[往信]

- ①セミナー番号 ②お名前（フリガナ）※参加者全員
- ③郵便番号・住所 ④電話番号

[返信]

あて先にご自身（代表者）の郵便番号、住所、お名前をご記入ください。裏面は未記入のこと。往復ハガキ1枚につき、4名までお申込みいただけます。

- ▶応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。
- ▶入場案内ハガキ・メールは締切日以降に発送いたします。
- ▶締切日以降は電話にてお問い合わせください。

[お申込み先]

〒650-0004
神戸市中央区中山手通 4-18-25
竹中大工道具館「技と心」セミナー係

[52] 2012年3月17日（土）（締切り2012年3月2日）

大工が教える本当の家づくり

講師：阿保 昭則（耕木社代表・大工棟梁）

「いい家」とはどんな家でしょうか？ 近ごろ建築をつくることと大工仕事とは違うと思うようになりました。技術を追求するだけで「いい家」はつくれないからです。しかし、きちんと伝承できている技術はほとんどありません。建築とは、伝統的に守るべきもの、進化すべきものとして時代を超えて前に進んでいく仕事です。大工が考えるほんとうの家づくりについて、これまで経験した事例を紹介しながらお話しします。

[53] 2012年5月19日（土）（締切り2012年5月2日）

基礎から学ぶ規矩術 入門編

講師：北村 智則（当館技能員）

曲尺を用いて木材の接合部分を幾何学的に割り出し、墨付けしていく技・規矩術。その基本である曲尺の使い方を初めとして、平勾配、隅勾配の関係、隅木の落ち掛かり勾配、茅負留先の切り墨などを例に、どう考えればよいか、なぜそうなるかを解説します。

[54] 2012年7月21日（土）（締切り2012年7月6日）

これからの大工の仕事 ～木の家と職人の現状～

講師：宮内 寿和（宮内建築・大工棟梁）

あと40年後には、日本の山から木がなくなってしまう、職人は絶滅危惧種に、日本では伝統的な住宅が建てられなくなるとも言われています。このような危機的な状況の中で、私達はさまざまな問題を抱えながらも、四寸角挟み梁工法の開発や木材の水中乾燥の実践など、常に日本の木造住宅の進化に取り組んできました。そのような日々の活動や仕事の話、住まい手とのやり取りをお話させていただきたいと思います。

ACCESS 来館のご案内

開館時間 9:30～16:30（入場は16:00まで）

休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）
年末年始（12月26日～1月7日）

入館料

	個人	団体
一般	300円	250円
大・高生	200円	150円
小・中生	100円	50円
障がい者手帳をお持ちの方 及び付添者1名	無料	
65歳以上の方	100円	

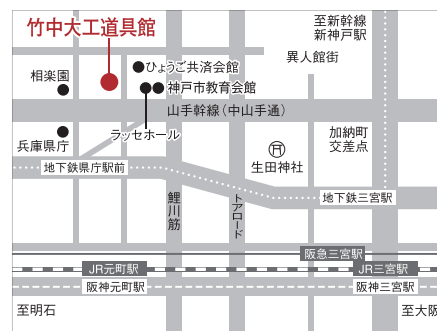
※団体は20名以上 ※その他各種割引あり

交通案内

- ▶JR・阪急・阪神「三宮駅」徒歩18分
 - ▶JR・阪神「元町駅」徒歩10分
 - ▶地下鉄「県庁前駅」徒歩5分
 - ▶新幹線「新神戸駅」タクシー10分
- 駐車場4台（普通車）あります。

連絡先

〒650-0004
神戸市中央区中山手通 4-18-25
TEL 078-242-0216
FAX 078-241-4713
URL <http://dougukan.jp>



※企画展・イベントなどの日程は変更になることがあります。最新情報は当館ホームページにてご確認ください。※本誌のお届け先の変更・追加および送付停止については電話・FAX・メールにてお知らせ下さい
本誌の無断転写・転載・複製は禁じます。©2012 Takenaka Carpentry Tools Museum

竹中大工道具館NEWS第26号

2012年1月20日発行
編集・発行：財団法人竹中大工道具館
印刷：神戸新聞総合印刷

TAKENAKA
CARPENTRY
TOOLS
MUSEUM

